

名張市における 小中一貫教育の取組の現状について



平成28年9月1日
平成28年度第1回総合教育会議

名張市のめざす教育

＜第2次名張市教育振興基本計画：平成28年度から10年計画＞

夢をはぐくみ、心豊かで、元気な「ばりっ子」

夢を実現する力

社会を拓く力

発達を踏まえた、新たな教育の実現

子どもの学力・体力等の課題解決をはかり、変化の激しい時代を生き抜く力をつけるためには、発達を踏まえた、より一層きめ細やかで質の高い教育を実現する必要があります。

学校、家庭、地域の連携強化

未来を担う子どもを健やかに育むためには、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域ぐるみで教育に取り組む体制づくりを推進する必要があります。

地域のつながりの強化

地域のセーフティネット機能を高め、これまで培われてきた地域の文化・規範を次世代に継承するためには地域のつながりを強化する必要があります。

就学前教育の充実

経済状況等による進学機会や学力の差が世代をまたがる格差の固定化につながらぬよう幼児期等において学習面・生活面における支援を適切に講じる必要があります。

名張市のめざす小中一貫教育

夢をはぐくみ、心豊かで、元気な「ばりっ子」

夢を実現する力

◆ふるさと学習「なばり学」の創設

ふるさと学習「なばり学」は、名張の自然や歴史、伝統・文化、産業、人等について9年間を通して学びます。講師は地域人材を活用し、体験活動を取り入れながら、「名張を大切に思い、自然を守り、伝統や文化を引き継いでいく一人である」という意識と実践力を育てます。

◆地域人材講師による「なばり学」「英語科」「総合的な学習の時間」等の授業の実施

◆キャリア教育の実施

異学年交流や地域住民・保護者との交流活動を積み重ね、自己肯定感や人と関わる意欲・関わる力を育てます。

また、企業や高等学校等における体験活動を通して、夢をもち、その実現に向けて主体的に取り組み、実践する力を育てます。

◆小学生の部活動体験の実施

社会を拓く力

◆子どもの発達に応じた学年段階の区切の研究
(例) 4-5制

◆小中学校教員による乗り入れ授業の実施

◆異学年交流の実施

◆小学校1年生からの英語教育の実施

小学校低学年では、主として「聞くこと」「話すこと」の音声面を中心とした英語を用いたコミュニケーション能力の素地を養います。

小学校中学年から中学校にかけては、小学校での学習をもとに「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」などのコミュニケーション能力の基礎を総合的に養います。

◆小学5・6年生における教科担任制の段階的実施

◆学校間交流実施（小学校と小学校）

小中一貫教育の取組

小中一貫教育推進への取組

①教職員への周知

②地域への周知

③市としての体制整備

④研究推進校の取組支援

①教職員への周知

②地域への周知

その1

*教育フォーラム講演会
<H27.11.14>

講師：京都産業大学

西川 信廣 教授



*教育講演会
<H28.1.06>

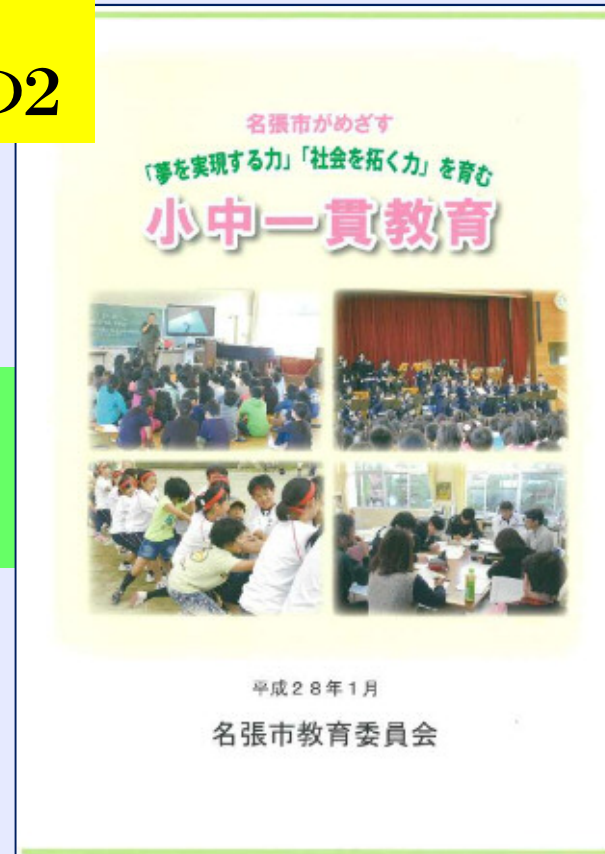
講師：呉市立川尻中学校

二宮 肇美 校長

①教職員への周知

②地域への周知 その2

小中一貫教育リーフレット
配布



②地域への周知

まちづくり理事会等にて説明

③市としての体制整備 その1

視察研修

*小中一貫教育全国サミットin三条 参加
<H27.10.22/23>

*奈良市教育委員会・奈良市立飛鳥小中学校視察
<H27.11.4>

*呉市教育委員会・呉市立川尻中学校・安登小学校・安浦中学校視察 <H27.11.9/10>

*京都市教育委員会・京都市立松陽小学校視察
<H27.11.25>

*小中一貫教育全国サミットin奈良 参加
<H28.1.29・30>

*小中一貫教育全国サミットin武蔵村山 参加予定
<H28.10.21・22>

③市としての体制整備 その2

小中一貫教育コーディネーターの配置

- ◆ 市教育委員会と学校との連携
- ◆ 研究推進校における体制づくりに係る支援
 - ・ 事前調査の実施に係る支援
 - ・ カリキュラム作成に係る支援
 - ・ 来年度年間計画及び時間割作成等に係る支援
- ◆ 研究推進校の学校間の交流授業・交流行事等の日程調整及び実施
- ◆ 「小中一貫教育推進事業」に係る業務

③市としての体制整備

その3

カリキュラムの作成

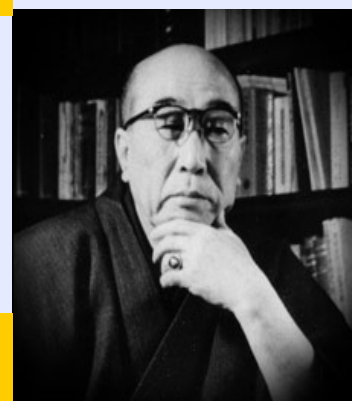
*英語教育推進カリキュラム
作成検討委員会



小中一貫英語教育カリキュラム
〈H28年2月作成〉

*ふるさと学習「なばり学」
編集委員会

ふるさと学習「なばり学」の
学習資料集作成開始



④研究推進校による取組

南中学校・つつじが丘小学校 (施設分離型)

南中学校



生徒数:315人
学級数:10(2)学級
(平成27年5月1日現在)

生徒数:301人
学級数:10(2)学級
(平成28年5月1日現在)

つつじが丘小学校



児童数:610人
学級数:20(3)学級
(平成27年5月1日現在)

児童数:620人
学級数:21(4)学級
(平成28年5月1日現在)

①研究推進校研究組織の立ち上げ

小中一貫教育推進部

学力向上
推進部

生徒指導
推進部

人権教育
推進部

体力向上
推進部



8月：講演「9年間を見据えて」

講師：元福岡県公立学校長猿渡 正利 さん

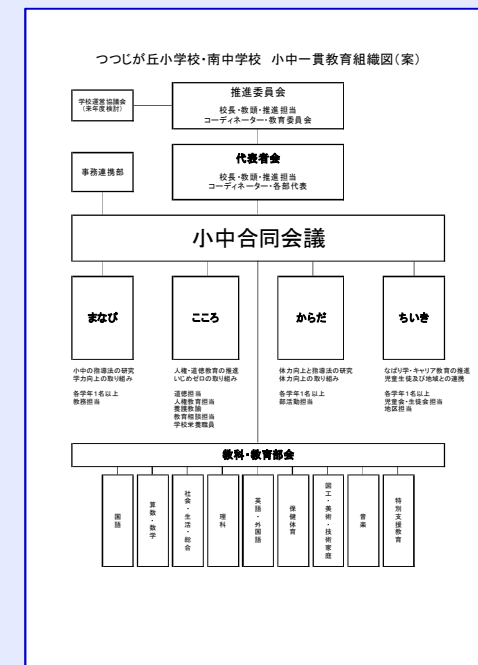


10月：小中一貫教育全国サミット参加報告・
部会別検討会



2月：今後の小中一貫教育の取組について

- * 「学校教育目標」「めざす子ども像」について
- * 小中一貫教育の組織の見直しについて
- * アンケート結果
- * 英語教育カリキュラムについて
- * 各部会より
 - 学力向上推進部
 - 生徒指導推進部
 - 人権教育推進部
 - 体力向上推進部
 - 小中一貫教育推進部
 - 健康教育推進部



②小中学校合同研修会 <平成28年度>



年間12回開催予定



組織のリニューアル

小中一貫教育推進
委員会

各部代表者会

まなび

こころ

からだ

ちいき

各教科部会

③小学校へのお出前授業

図画工作



外国語活動



体育



④生徒会活動を小学校で展開



⑤部活動における連携

吹奏楽部の演奏会



小学生の部活動体験

小学校教諭の部活動支援



⑥学校行事



中学校体育祭への
小学生の参加

小学校運動会での
吹奏楽部の演奏



「部落問題を考える小学生の
集い」への中学生の参加

⑦乗り入れ授業



6年生が、南中学校へ登校



5月：中学生による校舎案内



6月：中学校教師による授業 図書室にて読書



・・・以降、月1回実施予定

⑧カリキュラムの実践

英語教育カリキュラムの実践検証



名張市の小中一貫教育推進計画

平成27年度

- ・ 小中一貫教育についての周知・計画
- ・ つつじが丘小学校・南中学校を研究推進校に指定

平成28・29
年度

- ・ 研究推進校にて実践研究
- ・ 市としての体制整備

平成30～32
年度

- ・ 市内他4中学校区の小中学校を順次、小中一貫教育推進校としてスタート

推進に向けての課題 その1

＊小中一貫教育の推進に向けての市としての体制整備。



施設設備



実施に向けての
予算確保



教職員の配置



カリキュラム作成



コミュニティ・スクール設置
に向けての準備

推進に向けての課題 その2

*小中一貫教育の推進に向けての教職員の意識改革と
具体的実践



児童生徒の実情の共通理解・めざす姿の共有化

義務教育9年間の出口を明確に意識した教育
(カリキュラム)

指導観や児童・生徒観, 指導方法等の共有化